

読書のススメ

子どもたちにはブックステップ事業や読み聞かせ活動
大人には町営の図書室とやまびこ号
町には、読書に親しむ土壌がある
町営の図書室の貸し出し数は近年、減少の一途をたどっていたが
昨年から今年にかけて、増加に転じた
「読書の楽しさ」は今、着実に町に広がりつつある



読書の楽しさを 知ってほしいから

活字離れや読書離れが叫ばれる現代。
子どもたちに本の魅力を知って欲しい
と町教育委員会では毎年「ブックス
テップ事業」を実施している。

ブックステップ事業とは、町教委が
選定した4種類の本の中から、子ども
が選んだ1冊をプレゼントするという
もの。昨年までの小学1年生・中学2
年生に加え、本年度からは小学4年生
も対象となった。

小学1年生には「おしいれのぼうけ
ん」「あらしのよるに」などから1冊、
小学4年生には「おおかみ王ロボ」「ね
このしじみ」などから1冊、中学2年
生には、「坊ちゃん」「14歳からの哲学」
「十二番目の天使」などから1冊が子

どもたちにプレゼントされた。
本を受け取った子どもたちは、本当
にうれしそうに顔を浮かべ、互いの本
を見比べながら会話を弾んでいた。

小さなころからたくさん本と出会
い、本に触れることで、豊かな心をは
ぐくんでほしいという願いが込められ
ている。

町内の図書環境を 考えてみる

子どもたちは普段から学校の授業や
図書室、ブックステップ事業などで、
本と触れ合う機会がたくさんある。で
は大人のわたしたちはどうだろうか。
忙しい毎日の中で、読書する習慣とい
うのはなかなか根付かないものかもし
れない。「新聞や雑誌なら目を通す機
会が多いけど…」「読みたいけれど、な

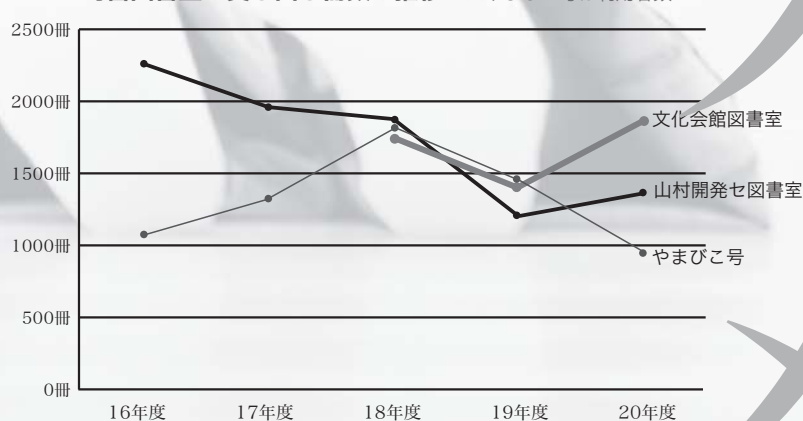
かなか買いに行く時間がないから…」
という人も多いことだろう。

そんなとき利用して欲しいのが町営
の図書室。小説や児童書、実用書から
町の歴史書まで、大人も子どもも楽し
める本が多数揃っている。調べものにも
最適だ。移動図書館やまびこ号は、
昨年11月に車両をリニューアル。さら
に使いやすく、さらに充実した蔵書を
乗せて町内を巡回中。図書室まで行く
のが大変な人は、ぜひやまびこ号を利用
して欲しい。

文化会館図書室では、18、19年度と
本の貸し出し数が減少傾向にあった。
が、20年度では1868冊と大幅な増
加に転じている。文化会館職員に聞く
と「昨年度は主に8月～10月の貸し出
しが大幅に増えました。夏休み中に本
を読む子どもや絵本を読んで聞かせる
親御さんが増えたようです」と話して
いた。山村開発センター図書室でも、
19年度1212冊から20年度1376
冊と、増加の傾向を見せ始めている。
反面、やまびこ号の利用者は減少傾向
にある。理由は定かではないが、運行
が平日のみというのが影響しているの
かもしれない。

本町には、他市町のような大きな図
書館はないが、それでも3カ所の図書
室（館）では毎月新刊書などを入荷し、

町営図書室の貸し出し冊数の推移 ※やまびこ号は利用者数



読書に親しむ土壌

図書の実態を図っている。

町で実施するブックステップ事業や
ブックスタート事業、家庭教育学級で
進める「親子で取り組む読書活動（生
涯学習のひろばに掲載）」、子育て支援
施設や各学校で取り組む読み聞かせ活
動など、本町には、子どもたちから
読書に親しむ土壌がある。

読書離れが叫ばれる現代だが、「読書
に親しむ心」は、この地に着実に根を
張り、芽を出し始めている。

子育て支援施設専門員に聞く「読み聞かせ」の効果

読み聞かせを通して、 子どもたちの「想像の世界」を広げてあげたい

子育て支援施設では、誕生日会など
のイベントに併せ、参加した親子を対
象に、本の「読み聞かせ」を実施して
います。いつも読み聞かせを始めると、
1歳に満たない小さな赤ちゃんが、目
をキラキラさせ、夢中になってこっち
を見ていますよ。読んでいるわた
しの方が驚くほどです。内容は全然分
からなくても、ちゃんと興味を示して
いるんですね。

小さいうちから、読み聞かせを通し
て本と触れ合うことはとても大切なこ

と。本の内容すべてを理解できないと
しても、読み手の声のトーンとか絵本
の色や絵柄を見ることで、想像力がか
き立てられるんだと思います。
「読み手と子どもたちとの距離感」。そ
んなものまで含めて、すべてが幼児教
育につながっているんでしょう。

とある高校では、野球部などの部活
に、イメージトレーニングの一環とし
て読み聞かせを採り入れているという
話を聞いたことがあります。読み聞か
せによって、心を落ち着かせること
や集中することなど、精神面も
鍛えられるからではないでしょ
うか。

そこまで大きさに考えなくて
もいいですが、子どもたちには、
純粋にお話の世界を楽しんでも
らえたらと思います。読みきか
せを通して本と親しむことは、す
こやかな人間形成に役立つと同
時に、親子のぎずなを深めること
にもつながります。

読み聞かせを体験した子ども
たちが、本に興味を持ち、物語世
界の広がりを感じてくれたらと思
っています。

子育て支援施設 専門員 **駒井宗子**さん（瀬平）

子育て支援施設 ☎ (57) 2231



週3回町内を巡っています 移動図書館やまびこ号

昨年11月26日に納入された新
しいやまびこ号。車両後部には
車いす乗降用のリフトが付き、
以前の車両よりも通路スペース
が広くとられ、利用者が使いや
すいような仕様となっています。
図書カードに記入するだけで本
を借りられます。原則週3回、
町内を巡っていますので、皆さ
んご利用ください。
文化会館 ☎ (59) 3106



図書ネットで蔵書を管理 山村開発センター図書室

役場本庁舎横の建物「山村開
発センター」1階にある図書室。
一般書から児童書、紙芝居など
幅広く取りそろえています。利用
方法は山村開発センター管理
人に一声かけ、図書貸し出し
カードに記入するだけ。町民の
皆さんのみ利用できます。定員
10人。
山村開発センター 上長尾627
☎ (56) 2231



蔵書1万冊。町最大の図書室 文化会館図書室

文化会館の2階にある図書室。
収納する蔵書は約1万冊を数え、
一般書から児童書まで取りそろ
えています。利用方法は文化会
館職員に一声かけ、図書室内に
ある貸し出し簿に記入するだけ。
町民の皆さんのみ利用できます。
定員35人。
文化会館 東藤川909-1
☎ (59) 3106

本のある暮らしを

読書のススメ—読み聞かせの効果